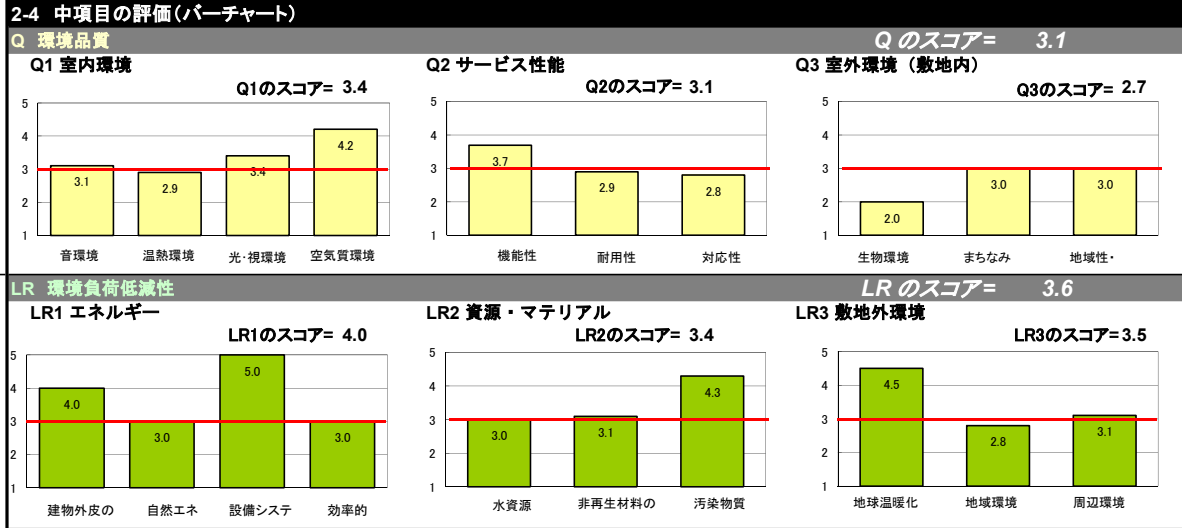
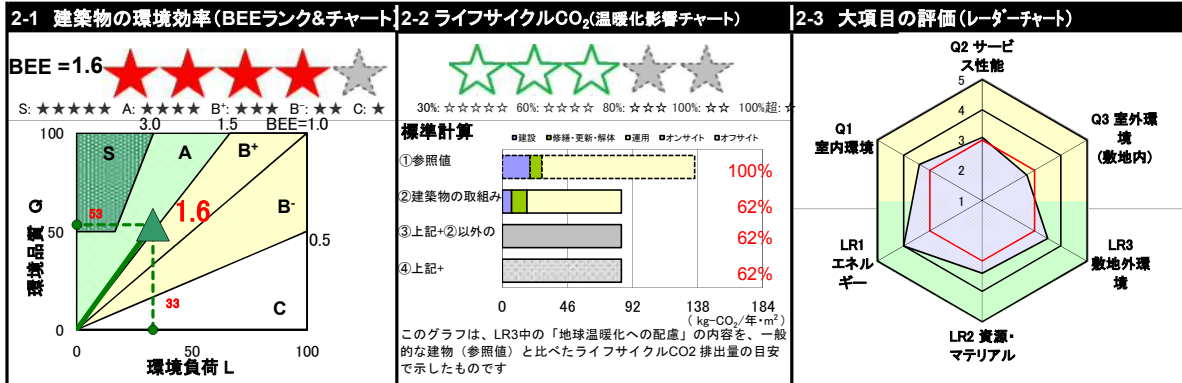


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)安城市住吉町計画	階数	地上15階
建設地	愛知県安城市住吉町三丁目461-3	構造	RC造
用途地域	工業地域 法第22条区域	平均居住人員	0人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年1月 予定	評価の実施日	2019年2月15日
敷地面積	5,904 m ²	作成者	(株)長谷工エコポレーション 中田
建築面積	1,149 m ²	確認日	2019年2月18日
延床面積	12,524 m ²	確認者	(株)長谷工エコポレーション 中村



3 重点項目

<h4>①地球温暖化への配慮</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">4.5</p>	<h4>③敷地内の緑化</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">2.0</p> <p>外構緑化指数 (外構緑化面積/外構面積)</p> <p style="text-align: center; font-size: 1.5em;">38.2 %</p> <p>建物緑化指数 (建物緑化面積/建築面積)</p> <p style="text-align: center; font-size: 1.5em;">0.0 %</p>
<h4>②資源の有効活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">2.9</p>	<h4>④地域材の活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">1.0</p> <p>〈外装材に使用した地域性のある材料〉</p> <p>なし</p> <p>〈建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材〉</p> <p>なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮

LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用

Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性

LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化

Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$



3 対応性・更新性					2.8	0.29	2.8	2.8	1.00	2.8
3.1 空間のゆとり							2.6	2.6		0.50
1 階高のゆとり								3.0		0.60
2 空間の形状・自由さ								2.0		0.40
3.2 荷重のゆとり								3.0		0.50
3.3 設備の更新性					2.8	1.00				
1 空調配管の更新性		②			3.0	0.17				
2 給排水管の更新性					2.0	0.17				
3 電気配線の更新性					3.0	0.11				
4 通信配線の更新性					3.0	0.11				
5 設備機器の更新性					3.0	0.22				
6 バックアップスペースの確保					3.0	0.22				
Q3 室外環境(敷地内)						0.30				2.7
1 生物環境の保全と創出		独自③			2.0	0.30				2.0
2 まちなみ・景観への配慮		独自④			3.0	0.40				3.0
3 地域性・アメニティへの配慮					3.0	0.30				3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		独自④			3.0	0.50				
3.2 敷地内温熱環境の向上					3.0	0.50				
LR 建築物の環境負荷低減性										3.6
LR1 エネルギー						0.40				4.0
1 建物外皮の熱負荷抑制				断熱等級4の取得	4.0	0.33				4.0
2 自然エネルギー利用					3.0	0.17				3.0
3 設備システムの高効率化				[BEI][BEIm]=0.79	5.0	0.33				5.0
4 効率的運用					3.0	0.17				3.0
集合住宅以外の評価										
4.1 モニタリング										
4.2 運用管理体制										
集合住宅の評価					3.0	1.00				
4.1 モニタリング					3.0	0.50				
4.2 運用管理体制					3.0	0.50				
LR2 資源・マテリアル						0.30				3.4
1 水資源保護					3.0	0.15				3.0
1.1 節水					3.0	0.40				
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					3.0	0.60				
1 雨水利用システム導入の有無					3.0	1.00				
2 雑排水等利用システム導入の有無										
2 非再生性資源の使用量削減					3.1	0.63				3.1
2.1 材料使用量の削減					3.0	0.07				
2.2 既存建築躯体等の継続使用					3.0	0.24				
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		②			3.0	0.20				
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		独自		グリーン購入法におけるパーティクルボードを間仕切り壁に使用	3.0	0.20				
2.5 持続可能な森林から産出された木材					2.0	0.05				
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		独自		躯体と仕上げ材が容易に分別可能になっている	4.0	0.24				
3 汚染物質含有材料の使用回避					4.3	0.22				4.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用				接着剤及びシーリング材に指定化学物質を含まない材料を使用	5.0	0.32				
3.2 フロン・ハロンの回避					4.0	0.68				
1 消火剤										
2 発泡剤(断熱材等)				HFO断熱材を採用	5.0	0.50				
3 冷媒					3.0	0.50				
LR3 敷地外環境						0.30				3.5
1 地球温暖化への配慮		①		建設段階におけるCO2排出量を削減している。	4.5	0.33				4.5
2 地域環境への配慮					2.8	0.33				2.8
2.1 大気汚染防止					3.0	0.25				
2.2 温熱環境悪化の改善					3.0	0.50				
2.3 地域インフラへの負荷抑制					2.5	0.25				
1 雨水排水負荷低減		独自			3.0	0.25				
2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.25				
3 交通負荷抑制		独自			3.0	0.25				
4 廃棄物処理負荷抑制					1.0	0.25				
3 周辺環境への配慮					3.1	0.33				3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.40				
1 騒音		独自			3.0	1.00				
2 振動		独自								
3 悪臭										
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制					3.0	0.40				
1 風害の抑制					3.0	0.70				
2 砂塵の抑制										
3 日照障害の抑制					3.0	0.30				
3.3 光害の抑制					3.7	0.20				
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				光害対策がイトライの一部項目を満たしている。広告照明を行っていない。	4.0	0.70				
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策					3.0	0.30				

重点項目スコアシート

(仮称)安城市住吉町計画

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				4.5
LR3-1	地球温暖化への配慮	4.5	0.10	
② 資源の有効活用				2.9
Q2-2	耐震性・信頼性	2.9	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	2.8	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.1	0.19	
③ 敷地内の緑化				2.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.09	外構緑化:38.2%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用			(評価ポイント)	1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 (仮称)安城市住吉町計画

計画上の配慮事項	
総合	環境と負荷低減に配慮し、敷地内に緑地を確保し緑量のある計画としている。
Q1 室内環境	室内環境の向上を目指し、F☆☆☆☆建材を採用している。
Q2 サービス性能	劣化対策等級3など耐久性に配慮している。
Q3 室外環境(敷地内)	敷地境界沿いに緑化を行い、周辺への景観に配慮している。
LR1 エネルギー	設備システムの効率化に重点を置いている。
LR2 資源・マテリアル	有害物質を含まない建材種別の採用を重視している。
LR3 敷地外環境	周辺環境の配慮におこなっている。
その他	注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。